

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	蕎麦と器が旅情を醸す中山道街道蕎麦「煮こじ蕎麦」
事業主体 (連絡先)	佐久商工会議所 0267-62-2520
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,911,892円 (うち支援金: 1,366,000円)

#### 事業内容

煮こじ蕎麦提供の「信州佐久煮こじ蕎麦の会」店舗で街道の宿場絵図や風景をモチーフにした中山道街道の旅情豊かなオリジナル蕎麦猪口を展示。観光客や住民が、作品を手に昔の旅人に想いを馳せながら、蕎麦の風味と煮こじの懐かしさ、中山道街道の旅の情緒を味わって頂く。



【煮こじ蕎麦店で陶芸作家の作品を展示】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①地元陶芸作家や工芸作家のグループと飲食店グループとが連携した初めての取り組み。地元作家の作品（蕎麦猪口）とともに煮こじ蕎麦のPRにより、観光客はじめ地元住民が佐久の郷土食、文化に触れていただく機会となり、周知につながった。
- ②平成27年10月3日（土）・4日（日）「ぞっこん！ さく市」アートランド（美術館内）において、蕎麦猪口展のプレ展示を開催。蕎麦猪口展開催の事前周知が多く来場者にでき、来店動機になった。
- ③「ぞっこん！ さく市」「JR小海線80周年イベント」「岩村田初午祭」での煮こじ蕎麦特別販売を実施

#### 【目標・ねらい】

- ①芸術家と飲食店という異分野の連携による地元文化の発信

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地元の作家と飲食店グループの初めての連携による事業として展開してきたが、お客様の反応はこれからといったところ。まずは様子見となってしまったが、接客対応なども工夫が必要であり、今後あらためて連携し相乗効果を図れるよう改善をする。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

蕎麦猪口展の試みは煮こじ蕎麦参加店への来店動機と作家のPRにつながったが、蕎麦猪口を購入するに至るには少なく、相乗効果が得られたか難しい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある